

伊勢の海賊衆

15 世紀後半まで、伊勢志摩地域には多くの領主が割拠していましたが、どの領主も戦力を集結し、領地を拡大することができていませんでした。また、この地域には 13 家からなる有力な海賊衆があり、共同で貴重な海路を支配していました。海賊衆の活動についてはほとんど知られていないものの、地元の歴史家は、彼らは厳しい掟に従っていたと考えています。掟破りは連帯に亀裂をもたらし、海賊衆の間には争いが絶えませんでした。仲間を出し抜くために、海賊衆の氏族が近隣の領主との同盟を模索することもよくありました。